



持田小学校学校だより

※学校ホームページは
こちらからどうぞ→



オアシス

2024 年度 第9号
令和7年1月20日
松江市立持田小学校
校長 吉田 卓矢

3学期がスタートしました

冬休みを終えて、新たな年、新たな学期が始まりました。

3学期は、1年間で一番短い学期ですが、一年間の総まとめでもあり、新たな挑戦のスタートでもあります。

今年の干支は「巳」です。へびのように、しなやかにそして忍耐強く、目標に向かって成長していったほしいと思います。こども達には、始業式でこのような内容の話をしました。教職員一同、この3学期は、何事も「やりきる」学期にしようというを確認しています。2025年が素晴らしい年になるように、持田小学校も一皮むけた姿をお見せできるように努力を続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



寒さに負けず体力づくり

毎日寒い日が続いていますが、こども達は元気いっぱいです。全校で行うなわとび集会に向けて、一人一人の目標に向かって猛特訓、猛練習中です。

また、器械運動発表会にも挑戦する人もいます。寒さに負けず様々なことにチャレンジして自分を成長させていったほしいと思います。



保護者アンケート ありがとうございました

毎年、よりよい学校にしていくため、教育活動を充実したものにしていくために、「教育活動に関するアンケートを実施しています。

今年度も12月末に実施し、結果がまとまりましたので、一部を紹介したいと思います。

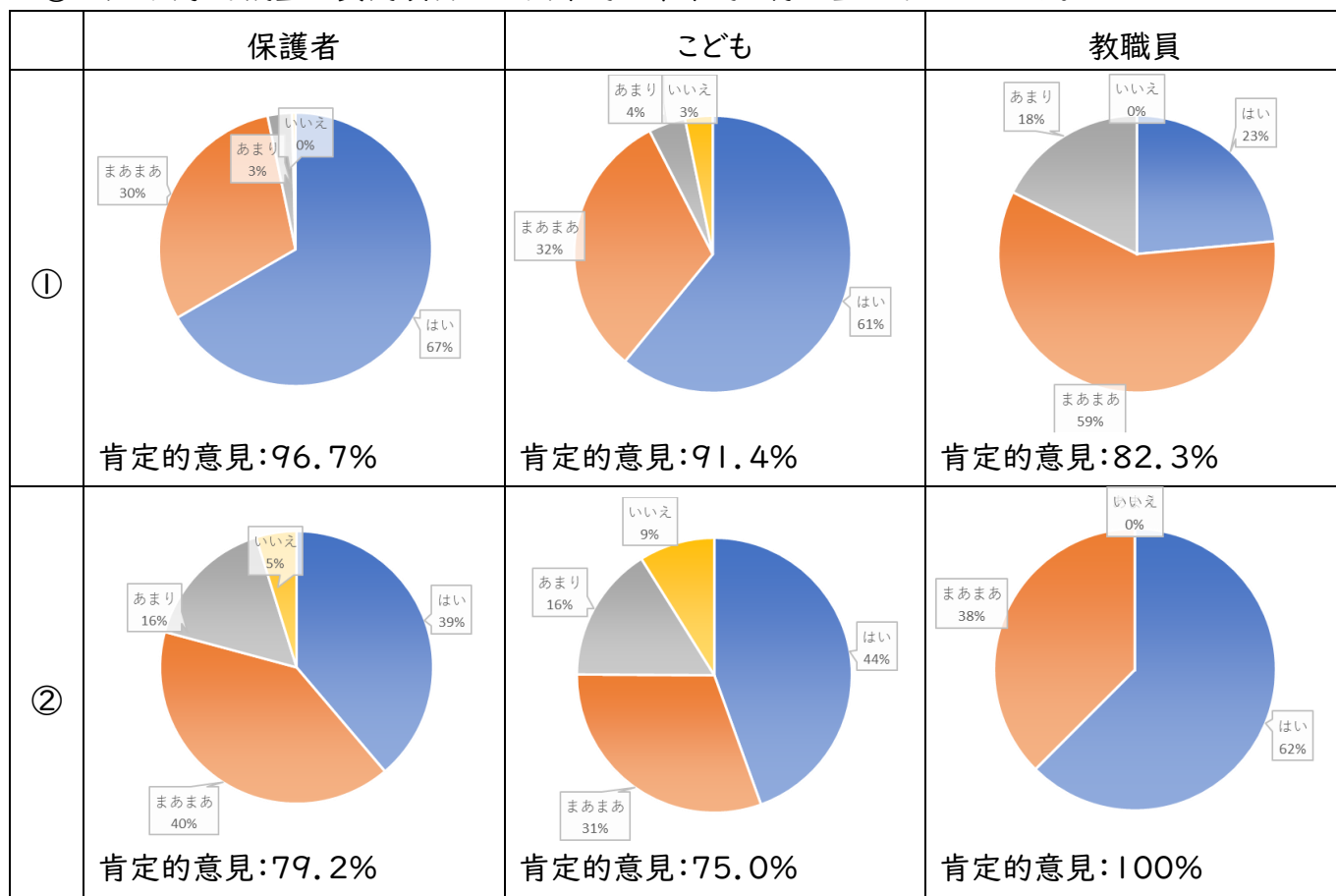
アンケートは、保護者用が12項目、こども用が21項目、教職員用が37項目あります。共通して質問している項目の中から、今回は2つの項目について紹介します。

①「学校は楽しいですか」

②「家庭学習をしていますか」の2つです。

①は、令和6年度の「目指す学校像」に設定し、今年1年間全校で取り組んできた内容です。

②は、全国学力調査の質問項目で全国平均や県平均と特に差があるものです。



①の学校は楽しいか（こどもは楽しいと感じているか）という問いには保護者、こどもは90%以上が肯定的な回答になりました。しかし、自信をもって「はい」と答えている方は60%程度となっています。また、教職員の評価は比較的低くなっていることから、まだまだ「誰もが楽しくて幸せを感じる学校」（楽幸）にしていくためには、改善の余地が多々あると受け止め、今後も工夫改善に努めていきます。

②の家庭学習の質問は、予想以上に家庭学習を行っている「自覚」があり、うれしく思いました。毎年4月に実施している全国学力・学習状況調査によると「家庭学習を平日1時間以上する」児童の割合が全国平均、県平均に比べ15ポイント以上低くなっており、本校の大きな課題の一つでした。質問項目が同一ではないので、単純比較はできませんが、4月に比べると改善していると推測できますし、自ら進んで家庭学習に取り組む工夫が功を奏しているといえます。今後も引き続き進めていきたいと思っています。